

問 河川のプラスチック類の不法投棄の対策は

答 環境保全協議会で取り組む



秋田 裕三

問

揖保川、千種川水系の環境を守る上で河川へのプラスチック類投棄がまだ多く見受けられます。市民局との連携による河川環境保全対策は講じられておりますか。平成9年に河川法の改正があり、従来の治水、利水の概念に環境を加えた河川制度であります。環境を含めた行政の施策の柱を作り上げていただきたい。特に精霊流しのプラスチック類が少なくなるように。環境は上流から・・・。

市長

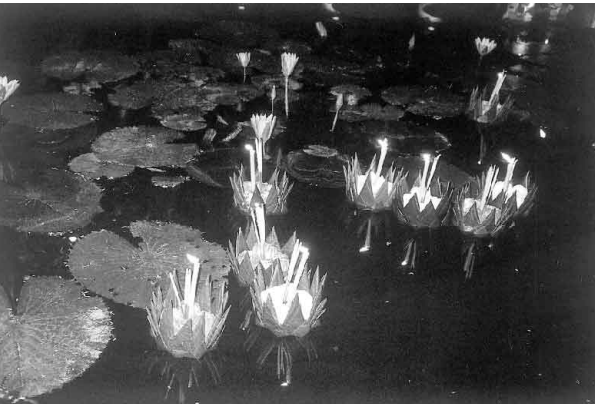
環境保全協議会の本年度の取り組みとして管内全域を対象とする不法投棄の重点パトロールのほか関係機関と連携した不法投棄防止や環境保全に取り組みます。また、精霊流しには環境に大きく影響しないものにしていただくなど広

問

報等PRの実施をしていきたい。今宿、中広瀬地区の揖保川河川の整備計画進行状況について伺います。

市長

1期工事として穴粟橋から旧裁判所の間、約300m、用地の境界確定と物件の調査に着手しています。用地の確保と買収に約3年間、工事に3年程度かかるとお聞きしています。



パナナの葉でつくった環境にやさしいタイ王国の精霊流し

問 いじめ等防止条例・道路計画の行政指導について

答 理解と協力を求めたい



小林 健志

問

いじめを絶対に許さないという断固たる姿勢ですべての市民の総意の下その防止に取り組むため、いじめ等防止条例を制定すべきだと考えるが、市長の考えを伺います。

市長

穴粟市では平成18年度末に人権施策推進計画を策定しているが、この推進計画が市民の皆様に行き渡っていない状況にあります。今後は徹底的に推進し理解を深め条例についても将来的には考えていきたい。

市長

庄能上牧谷線、県が計画されている第2期工事について地元の皆様にとどのような説明であったのかを伺います。都市計画決定するにあたり事業実施時期は未定だが地域住民が快適で安心

して暮らせるまちづくりに資する計画であることについて説明し理解を求めた。都市計画道路は都市計画上の規制をかけるものであるが、現在のところ事業認可を受けていないため行政による指導は強制力がなく、認可されるまでは私権が優先されま

す。今後も地権者の方々に對し事業の趣旨について理解と協力をいただく中で、事業の推進を計ってまいります。



庄能下町線（庄能上牧谷線バイパス）起点付近